



1. 連携大学OISTの大学院アドミニストレーション・フォーラムへ慶應義塾の学生部職員 5 名が現地参加

OIST International Administration Forumに慶應義塾職員が参加し、国際的な学生募集やアウトリーチ活動、包括的な学生支援体制、産学連携による博士課程学生のキャリア形成支援、国際的視野と専門性を備えた大学職員の育成をテーマに、実践的なスキルを学び、交流しました。（11月）

2. 金沢大学とスタートアップ創出支援および成長支援に関する意見交換会を実施

慶應義塾大学イノベーション推進本部と金沢大学先端科学・社会共創推進機構による意見交換会を実施しました。イノベーションを創出する戦略や組織体制、知的資産やリクルーティングなど、様々な取組について議論を展開しました。（10月）

3. 延世大学校と国際シンポジウム「Yonsei-Keio Public Seminar on “Humanities at Risk?”」共催

海外参画機関の延世大学校と、AIの台頭が大学の研究教育に及ぼす影響、今後の研究教育の在り方をめぐる国際会議を開催し、（危機に瀕しているのか？と言われる）人文学の視点から、基調講演、パネルディスカッションを通じて、討議を行いました。（12月）

4. 第4回慶應義塾大学WPI-Bio2Q国際シンポジウム2025開催

強みや特色ある研究拠点「WPI-Bio2Q」が、健康長寿に向けての生物学・細菌叢・代謝産物解析の融合というテーマで国際会議を開催しました。国内外から第一線で活躍するトップレベルの研究者が集い、活発な議論を展開しました。（12月）

5. KGRI I&A 先端技術セミナー「先端計測とデータ化学で加速する材料開発」開催

企業の研究企画・研究開発担当者を対象として、放射光オペランド観測やナノスケール分析による最先端計測・解析技術、マテリアルズインフォマティクスや理論化学による材料設計など、材料開発の加速に向けた最新研究動向を紹介し、交流を行いました。（10月）